

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：令和8年3月13日

アンケート回答期間：令和8年2月1日～令和8年2月15日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス Liebeしるやま

対象人数（保護者）16人 回答者数 11人 回収 68.8%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	4			活動するにあたって人数からすると、やや手狭な感じはします。	限られた活動スペースの中で、活動内容や利用人数、その日のお子様の様子に合わせて過ごしやすいスペースづくりに努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		1		人員配置は必ず遵守し、安心して預けて頂けるような職員配置をするよう努めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					引き続きお子様に分かりやすいよう掲示物の工夫を行っていきます。障害特性に合わせられるよう環境の見直し等は今後も定期的に行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1				毎日の清掃や消毒は徹底して行っています。お子様が少しでも心地よく過ごせる空間になるよう職員で話し合いを行い検討を続けていきます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	11					より特性を把握できるよう支援スキルの向上や、より適切な計画書の立案を行っていきます。また個々で対応できるよう環境調整も行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、 事業所の提供する支援内容と合っていると思 いますか。	11					支援プログラムを明確化し周知することを強化していきます。また、内容がずれてこないよう定期的に全職員で見直しを行い、再度把握できるよう努めています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※ 3）が作成されていると思いますか。	11					今後もより正確に寄り添った放課後等デイサービス計画の作成が行えるよう、日々での情報共有や聞き取りを行ったり、適切なアセスメントがとれるよう能力向上にも努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デ イサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の 「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示 す支援内容から 子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、そ の上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	10			1		職員で放課後等デイサービスガイドラインの見直しを行い、支援内容を把握し、適切に提供できるよう努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われ ていると思いますか。	11					全職員で放課後等デイサービス計画を見直す機会設け、適切な支援が行われているか、適切な目標設定が行えているのかを定期的に検討することを続けていきます。
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されな いよう工夫されていると思いますか。	11					今後も様々な活動プログラムを提供できるよう保護者様にもアンケート等の実施を検討していくなど多方面から支援できるよう努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の 他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	1	2		現在はなかなか交流が持てていないため、安全に交流できる環境を整え実施できるよう検討していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありまし たか。	11					契約時に説明する際により分かりやすく丁寧に説明が行えるよう、書類内容の見直しや読み直しを行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支 援内容の説明がなされましたか。	11					送迎時や面談時にお話をすることを継続し、HUGでの閲覧方法も周知していきたいと思ます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペ アレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参 加できる研修会や 情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	2	4		送迎時に話をするだけでなく、事業所でお子様の様子をみていただくことやご家族様も参加できる支援プログラムの立案を行い、家族支援プログラムの機会を設けていきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こ どもの健康や発達の状況について共通理解ができて いると思いますか。	11					今後も日頃の連絡帳の記載や送迎時の情報共有を大切に、保護者様とより適切に共通理解がもてるよう全職員努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が 行われていますか。	11					保護者様のニーズにお応えできるようお話をさせていただける機会を設けていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	11					今後も一人一人のお子様の特性やその日の状況に合わせて支援に入らせていただきます。
	18 より、保護者同士の交流の機会が設けられるな ど、 家族への支援がされているか。また、きょうだい 向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるか。	2	5	2	2		会社全体でのイベントにしか参加が出来ていないため、事業所でもご家族様やきょうだいにも参加していただけるよう体制を整え、プログラムを立案し実行していきたいと思ます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応 の体制が整備されているとともに、子どもや保護 者に対して そのような場があることについて周知・説明さ れ、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応 されていますか。	11					今後もご相談していただきやすい環境、受け入れが出来る体制を整えていきます。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされていると思いますか。	10			1		一人一人のお子様に対しどのように意思疎通が行えるかを職員間で共有検討を続けていきます。保護者様へも適切に分かりやすく情報伝達が行えるようHUG等も継続していきながら、職員間で検討を行っています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する 自己評価の結果を 子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		今後も情報発信を継続して、より分かりやすくお伝えできるよう内容等の検討を続けていきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思 いますか。	10	1				保護者様に安心していただけるよう書庫の鍵管理やSNS等での発信方法など徹底していくことを続けていきます。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		3		事業所のみで完結するのではなく、保護者様にもご理解いただけるよう情報開示や訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		2		非常災害に備え迅速適切に対応できるよう職員での訓練も続けていきます。また、子供たちへの理解を深めるためのプログラムも立案実行していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					今後も安心してご利用いただけるよう情報の発信やヒヤリハットに対する対策等を充実させていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					まずは事故が起きないように十分留意して支援にあたらせていただきます。起きてしまった際は、迅速適切に対応できるよう全職員で定期的にマニュアルの見直しを行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					環境調整や人員配置等の充実にも努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11					今後も楽しく通っていたりできるような様々なプログラムの提供や居心地よく過ごしていただける環境調整等に努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					より満足していただけるよう普段からの情報収集や環境変化の先読みを行い早い段階から調整を行い、様々なニーズに対応できるよう努めています。
1年の振り返りと総評	30	事業所に通われてからこれまでで、保護者様が心に残ったエピソードを教えてください。	8	1		2	<p>・子どもの好きな事、やりたい事に全力で寄り添ってくれるので、本当に行くのを楽しみにしています。</p> <p>・祝日のみの利用をさせていただいて、久しぶりの利用になっても、そのように感じさせないような笑顔の対応で迎えてくださるので、子供もリラックスして入る事ができ、とてもありがたいです！又、久しぶりの利用になった時にはしっかり近況や現在の困り事等を聞いてくださるので、安心して預けることができます。</p> <p>・宿題など、理解しやすいように先生も一緒に考えてくれるのでありがたいです。</p> <p>・年齢が下のお子さんを手助けしたり、見本を見せたりと本人の自信につながるような環境の中で遊ばせているように感じました。</p>	エピソードありがとうございます。実際のお話を聞くことができ、職員一同嬉しく思います。今後もお子様と保護者様に寄り添い、安心して楽しく通い、成長できる場になるよう、しるやま職員一同努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせる事が想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目指します。